

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下諏訪町地区防災計画策定事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町 (総務課 企画係)
事業区分	(4) 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	762,153 円 (うち支援金 : 609,000 円)

事業内容

本事業は、各地区において、基本的な災害情報のほか、住民だからこそ知り得る危険箇所の情報をワークショップ形式で地図へ書き込む作業を通して、危険箇所のマップの作成を行う。

考え方の基本は、あくまで住民主導で行うことに重点を置き、より住民に身近な情報とすることで「自分のもの」として活用いただきたいと考えている。

併せて、ワークショップ等の際に出された意見などから、避難の場所や避難する際の判断基準などの地区毎の避難ルールも明確にし、それらを文書としてまとめることで地区防災計画の策定を行い、「自助」「共助」による地域防災力の向上を図る。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①平成27年度事業における対象地区は、第1区及び第2区とした。進め方については、それぞれに差異があったが、複数回に及ぶワークショップの開催は多くの住民に参加いただき、住民主導型による事業推進が図られた。

②これまで曖昧な部分もあった、各地区における避難ルールの再確認を行うことで、集合場所やその先の避難所への行き方などをより明確にし、地図として住民周知が図られた。

③事業推進に伴い、自主防災組織の強化や独自の防災活動へ発展するなど、防災意識の高揚に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

災害は、規模や場所を選ばず発生する危険性があるため、町内全区で同様の取り組みを早期に行い、下諏訪町全体を網羅する「ハザードマップ」として配布することで地域防災力の向上を図るほか、自主避難ルールを検証する目的で避難訓練を実施することで、より実践力を向上させる。

(活動写真)



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①住民主導型の取り組みを行う。
- ②避難ルールを明確にする。
- ③活動を通して更なる意識の高揚を図る。

※自己評価【A】

【理由】住民主導型の本事業は、多くの住民の参画により目的を達成する。その意味で、対象とする各区で多くの住民の参画があり、自助・共助の考え方が浸透したと考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある